

# SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

## 社会福祉法人恩賜財団愛知県同胞援護会における SDGsへの取組み

恩賜財団愛知県同胞援護会は、皇室の強い思いを受け、終戦の翌年に戦災者や外地からの引揚者の方々などを支援するために設立された組織を源流としております。現在では、支援の対象は高齢者・障がい者といった方々になりましたが、支援を必要とする方々を救済したいという想いは脈々と受け継がれており、社会福祉法人への改組後も71年の長きにわたり社会福祉事業に取り組んでまいりました。

こうした、法人の歴史や理念は、2030年までの持続可能な国際目標であります「SDGs」の推進に通じるものがあると考えます。

本法人が2023年から3年間の「中期事業計画」を策定するにあたり、高齢者、障がい者、児童福祉に関する様々な課題に対して、SDGsの視点を踏まえて取り組んでまいります。

### ◆SDGs(持続可能な開発目標)について



2015年9月の国連サミットで採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」に記載された、2030年までに持続可能でより良い世界を目指す国際目標です。17のゴール・169のターゲットから構成され、地球上の「誰一人取り残さない」ことを誓っています。

この目標は、健康や福祉、教育の機会、経済成長、不平等の是正、気候変動といった国際社会が抱える地球規模の課題を解決するために、行政、企業、団体、個人が取り組んでいく必要があります。

## ◆SDGsが掲げる国際目標と法人の取組み



### すべての人に健康と福祉を

あらゆる年齢の全ての人々の健康的な生活を確保し、福祉を促進する

#### 【法人の取組み】

法人では、職員一人ひとりが、戦後の日本を支えた高齢者の皆さまや障がいを持った方々とのつながりを大切にし、人に尽くすことで幸せを分かち合うという喜びに繋げ、信頼し信頼される関係を築くことを目標としています。

- ◆高齢者、障がい者、児童の福祉を推進し、利用者のいのちと尊厳を大切にします。
- ◆サービスやケアの質を高め、利用者の満足度を高めます。
- ◆ICT化の推進や施設・設備の充実化により、快適な環境を整えます。
- ◆高齢者や障がい者サービスを充実するため、新たな事業の検討を進めます。



### 質の高い教育をみんなに

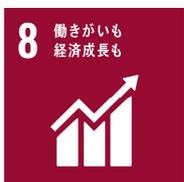
全ての人に包摂的かつ公正な質の高い教育を確保し、生涯学習の機会を促進する

#### 【法人の取組み】

法人では、職員がこの法人で長く働き続けていけるよう、職員一人ひとりが将来のキャリアを思い描き選択する「キャリアパス制度」を構築し、人事評価制度と合わせて、職員の知識・能力のレベルアップとそれに応じた処遇を行っています。

また、「人事教育計画」を策定し、新人、初任管理者、管理者などそれぞれの階層に応じた研修や介護福祉士資格取得講座、実務者研修などの資格取得のための専門教育を実施し、「人の成長」を質の高いサービスの提供に繋げていきます。

- ◆職員の研修参加を促進し、資格の取得を支援します。
- ◆役職者の研修プログラムを再構築し、リーダー職員を育成します。
- ◆外国人介護士の育成のための標準的な育成プログラムを作成します。
- ◆職種間、事業所間の交流を促進し、職員のレベルアップとサービスの向上を図ります。



### 働きがいも経済成長も

包摂的かつ持続可能な経済成長及び全ての人々の完全かつ生産的な雇用と働きがいのある人間らしい雇用を促進する

#### 【法人の取組み】

法人では、入所施設を中心に「眠りスキャン」や「電子カルテ」などのICT化を進め、入所者の皆さまへのサービスの向上に繋げるほか、職員が安心して介護ができ、さらに記録管理の負担軽減にも繋げるなど、働きやすい職場環境の実現を目指しています。

また、職員専用託児所や小学校入学まで利用可能な「育児短時間勤務制度」など子育て中の職員が長く働き続けることができる環境整備を進めています。

- ◆法人広報誌、HP、SNS、ブログ、動画を活用し、法人の魅力発信に努めます。
- ◆特定の専門学校との連携や近隣の専門学校・高等学校への法人PRを進めます。
- ◆労働環境の改善や年休の取得促進、男性の育休取得を推進します。
- ◆託児所の拡充に向けたニーズ調査を実施します。

## ◆SDGsが掲げる国際目標と法人の取組み



**人や国の不平等をなくそう**  
各国内及び各国間の不平等を是正する

### 【法人の取組み】

法人では、介護福祉士養成施設で学ぶ学生に対し、法人独自の「奨学金貸付制度」を設け、国籍を問わず学費及び生活費等を支援し、介護人材の育成を行っています。

- ◆在留資格「特定技能」制度による外国人介護士の受入を拡大します。
- ◆外国人や遠隔地採用者のための職員寮を拡充します。
- ◆宗教上必要な礼拝や清めの設備を確保します。
- ◆高齢者、障がい者雇用を推進します。



**住み続けられるまちづくりを**  
包摂的で安全かつ強靱で持続可能な都市及び人間居住を実現する

### 【法人の取組み】

法人では、大府市にある法人施設を開放し、地域住民の「ふれあいの居場所」を設けました。運営は高齢の皆さんがボランティアとして集い、食事や趣味の活動を通じ世代を超えた交流を行っています。

- ◆地元自治体との意見交換会や見学会を開催し、地域との交流や地域貢献を促進します。
- ◆認知症に関する知識向上のための体験会を開催し、地域住民の理解を高めます。
- ◆ボランティア団体との交流会を実施し、ボランティア受入れについて再構築します。
- ◆地域、消防署との連携を進めるため、合同防災訓練や意見交換を実施します。



**気候変動に具体的な対策を**  
気候変動とその影響に立ち向かうため、緊急対策を取る

### 【法人の取組み】

法人では、大規模災害発生時においても、電力・水道供給を維持するため、各入所施設に自家発電設備を、エリアごとに地下水利用受給設備の設置を進めています。

また、入所施設ごとに「業務継続計画」を策定し、大規模災害や感染症発生時においても必要とされるサービスを提供します。

- ◆養護老人ホーム「若草苑」に自家発電設備を設置します。
- ◆ICT化を推進し、業務の効率化や記録管理、計画書管理の電子化を進めます。
- ◆照明設備のLED化を進め、CO<sub>2</sub>の削減を推進します。